



T I S 株式会社

業種 情報・通信業 (ITサービス提供)

従業員数 5,970人 (単体/2025年)

URL <https://www.tis.co.jp/>

本社所在地 東京都新宿区

取組の特徴

社員のキャリア開発と新事業創出の可能性を見据えた地方での「健康経営ワーケーション」を導入



チームビルディング 組織変革 エンゲージメント



リーダーシップ 心身の健康 SDGs

実施地域 森林サービス産業推進地域「[和歌山県田辺市地域](#)」

受入組織 [株式会社南紀白浜エアポート](#)

実施概要

社員の越境学習によるキャリア開発と、地域課題解決と一体となった新事業創出の可能性を模索するため、古来より過去・現在・未来を振り返るために多くの人が訪れた歴史ある熊野三山で、キャリアデザインを意図した「健康経営ワーケーション」を実施。社員の生産性向上等の効果が見られるとともに、地方でのIT企業の社会的役割等が見い出された。

導入の経緯と決め手

- 社員の越境学習によるキャリア開発とともに、IT企業としての地域課題解決と一体となった新事業創出の可能性を模索するため、地方でのワーケーションの取組を模索。
- 既存の就業規則に合わせたワーケーションの導入可能性の検証とエビデンスの取得、ワーケーションを組み合わせたヘルスケア事業の創出可能性を模索する観点から企画。
- 豊富なワーケーション関係施設、熊野古道等の自然環境に加えて、南紀白浜エアポートによる和歌山県・白浜町・地域組織と連携したコーディネート体制があることから選定



プログラムの構築とねらい・工夫

- 自然崇拜の聖地の熊野三山は、古来より過去・現在・未来を振り返るために多くの人が訪れた「蘇りの聖地」でもあるという歴史を鑑みて、古道を歩きながらキャリアや人生の過去・現在・未来を整理し直していくキャリアデザインのプログラムを構築。
- 1回目は過去のキャリアと職業観（働く動機・価値観）の内省・共有による自己理解を深め、自己効力感を高め（認知の4点セット）、2回目は現在を深く客観視し、自身ができることの解像度を高め（IKIGAIフレーム）、3回目は企業理念を自分ごと化し、将来に向けた取り組みを整理して宣言（個人と会社人としてのWILLの共有）する内容で構成。



プログラムの効果、担当者・参加者の声

[効果] 社員の職業性ストレスの低減とともに、リカバリー経験・ワークエンゲージメント・パフォーマンスの向上等のエビデンスが得られた。また、地域との関係性が深まり、その後に林業を題材に研修等も実施し、地方でのIT企業の社会的役割等が見い出された。

[担当者の声] 「参加者同士で象徴的な体験を行うことで、参加者間で関係性が強まり、チームビルディングにつながった」

[参加者の声] 「神聖な熊野三山の理念に基づき、過去・現在・未来を内省できるのが良い」

「森のプログラム」導入事例

①和歌山つばき健康経営ワーケーション

(TIS 開発事業部門 / 3泊4日 × 2回、オンライン1回)



プログラム事例

◆和歌山つばき健康経営ワーケーション（1回目・3泊4日）

※1回目は過去のキャリアと職業観を内省・共有、2回目は現在を深く客観視し、3回目は企業理念を自分ごと化して未来を思考するプログラムを構築。

日程	プログラム	ねらい・内容
1日目	越境学習	アワーズ社との価値交換会(双方の会社紹介、参加者自己紹介)
	湯治体験	湯治の歴史・入浴ストレッチ説明、温泉入浴、女将語り部・湯治食
2日目	テレワーク	昼食時にはランチビュッフェでの食育指導
	湯治体験	入浴・ストレッチ、女将語り部・湯治食、ウェルネス講話
3日目	熊野古道ウォーキング	森林浴×ウォーキング・マインドフルネス。習慣化に向けたストレスコントロール手法等の習得、ワークシートによる整理等を実施
	昼食	(併せてストレッチも実施)
	熊野古道ウォーキング	キャリアデザインワーク。壮大な森林空間を歩きながら、前半は過去の自身のキャリアを内省、後半は歴史を聞きながら歩く
4日目	ワークショップ	古道ウォークのメモをまとめ、全体で共有・質疑で理解を深める
	湯治体験	入浴・ストレッチ
	夕食・懇談会	地域との関係性構築や課題把握のための交流
	地域貢献活動	地域でのフィールドワーク(雑草取り/次回に向けた意見交換)